

事務事業 No./名称	■サービス部門 景観-10 街路樹維持管理事業 □支援部門				ザイムスコード及び個別事業名	
					303	街路樹維持管理事業
主管課	公園海浜課		関連課	道水路管理課		
分野名	みどり					
目標 (目標値)	街路樹を適正に管理することにより、緑豊かな都市づくりを目指す。					
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備考		
	人口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)		
	世帯数	78,131世帯	77,430世帯			
運営資源 状況	決算値	20,255千円	25,148千円	指標と評価 指標 評価 ○ ◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		
	(国・県)					
	(負担金等)					
	(一般財源)	20,255千円	25,148千円			
	人員配置数	1.0人	1.0人			
	人件費	9,035千円	9,400千円			
	協働の パートナー					
事務事業 運営経費	総事業費	29,290千円	34,548千円	20年度		
	市民1人当 りの経費	166円	196円	21年度		
	対象者1人 当りの経費			22年度		
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名					
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) ○成長した根の影響で舗装が隆起するなど歩行障害となっている路線もある。 ○愛護会の役員交代に伴い、活動内容が継承されない場合がある。 ○害虫駆除のために薬剤散布を求める声が依然としてある。 ○落ち葉に対する苦情や交通障害のため強剪定を強いられることがある。				
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) ○道路管理者と連携して、補修等の対応をしている。 ○公園協会と連携して年2回の愛護会連絡会を開催し、街路樹愛護思想の普及向上に努めている。 ○愛護活動を市のHPで紹介した。 ○殺虫剤散布の危険性を住民に周知し、散布を極力回避している。 ○樹木特有の樹形を残すように受注業者に指示している。				
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) ○鎌倉山の桜並木については、危険木となりうる老木が多いが、大半が民地に植えられていることから、更新が難しい。				
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) ○鎌倉山の桜並木については、宅地造成等、開発計画により伐採計画が発生した場合には、事業者 にサクラの更新を促していく。				
一次評価(課長評価)				二次評価(部長評価)		
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了						
評価結果	改善の必要性	評価結果			改善の必要性	
B	有	B			有	
課長名	公園海浜課長代理:石山 由夫			部名・部長名	景観部長 土屋 志郎	